

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年5月14日（火）

2 確認箇所

Eタンクエリア

3 確認項目

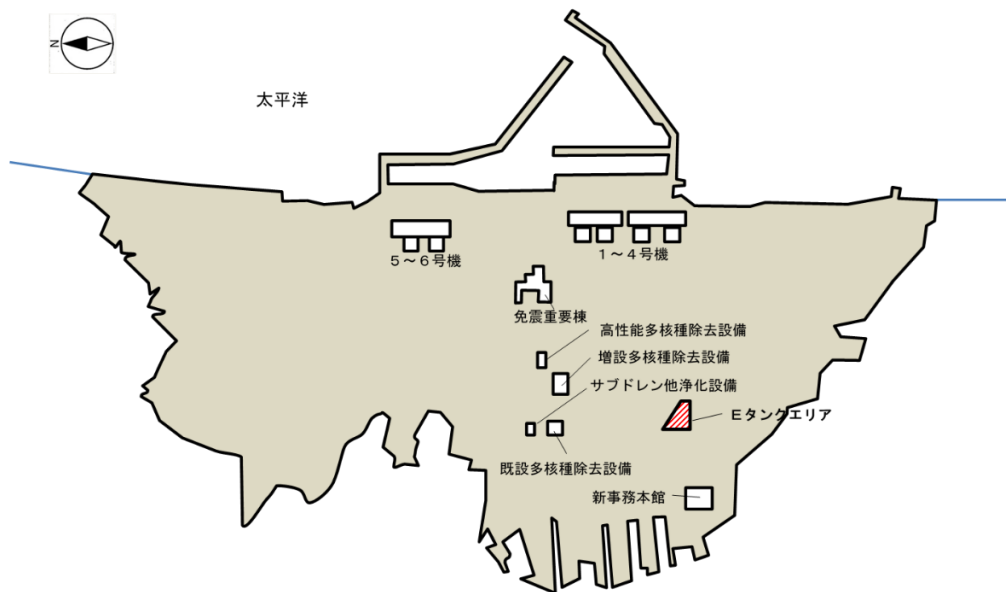
フランジ型タンク除染解体作業の実施状況

4 確認結果の概要

Eタンクエリアではフランジ型タンクの解体作業が進められており、現在までに全49基中47基の解体が完了している。残る2基のタンク（D1・D2タンク）は底部残水（RO濃縮水）の α 核種濃度が高いことが確認されており、漏えいのリスクを低減するために、タンク内の残水やスラッジの移送後にタンク内面のレーザー除染を行い、解体することとしている。D2タンクについては、令和6年3月末までにレーザー除染が終了し、現在、解体作業が進められていることから、その状況を確認した。なお、D1タンクについては、タンク内のスラッジを令和6年12月頃までに回収した後、タンク内面の除染を行い解体する予定としている。（図1）（写真1）（前回確認：令和6年4月5日）

- ・確認時は、D2タンク内のタンク底板モルタルの研り作業※が行われていた。（写真2）
- ・研り作業にて発生するダスト対策のため、タンク側板マンホール部に設置したダクトを通じて、D2タンク西側に設置した集塵機にてダストを捕集する対策が実施されていた。（写真3）
- ・D1タンクにおいては、作業は行われていなかった。（写真4）

※ タンク底板の目地（フランジ部）に漏えい防止のために充填されているモルタルを取り除く作業



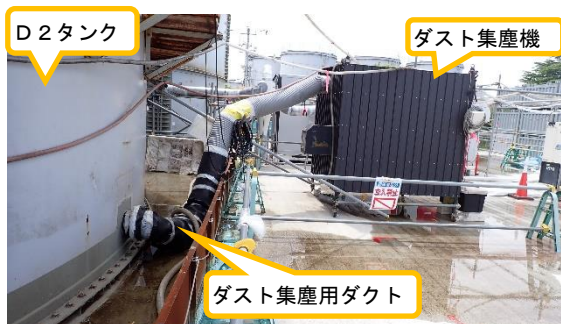
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
D1、D2タンクの概観
(東側から撮影)



(写真2)
タンク底板モルタル研り作業のため
タンク内への入域準備をしている作
業員の状況



(写真3)
D2タンク西側におけるダスト集塵
機の設置状況



(写真4)
D1タンクの状況
(北西側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。